

人権啓発用DVD管理台帳(人権尊重都市たかまつ市民会議)

番号	題名	分野	時間	ジャンル	対象	年度	内容
1 (DVD)	「えっ！これも人権？－4コマ劇場より－」	人権全般	30分	アニメーション	小学～成人	2008 (H20)	日常生活のふろした出来事などを例にあげ「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コママンガと実写で分かりやすく構成されています。
2 (DVD)	「ひとみ輝くととき」	いじめ	35分	ドラマ	小学～成人	2008 (H20)	あなたは、加害者、被害者、観衆・傍観者、それとも仲裁者ですか？それぞれの立場で考え話し合える、いじめ撲滅の感動の作品。
3 (DVD)	「CSR(企業の社会的責任)早分かり」	企業問題	40分	ドラマ	成人	2009 (H21)	企業が持続的に発展していくためのキーワードとして注目を集めるのがCSR(企業の社会的責任)。企業だけでなく、ビジネス人一人ひとりが認識すべきCSRのポイントをドラマ仕立てて解説する。
4 (DVD)	「同和問題と人権－あなたはどうか考えますか－」	同和問題	28分	アニメーション	青年～成人	2010 (H22)	同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくなるらないのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか、このビデオを見ながら、一緒に考えてみませんか。
5 (DVD)	「親愛なる、あなたへ」	人権一般	37分	ドラマ	成人	2010 (H22)	私たちの身の回りに人権に関わる課題が数多くあることから、まず身近な人や出来事に関心をもつことが人権尊重の第一歩であることに気づき、地域を見つめ直す契機とし一人一人が地域社会の構成員であることを自覚し、自分の能力や経験を活かすなど主体的な生き方について考える。
6 (DVD)	「見上げた青い空」	いじめ	34分	アニメーション	中学～成人	2011 (H23)	巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる。“いじめ”の本質を直視していただき、あらためて“いじめ”について考えていただくきっかけになることを企図して作成されました。
7 (DVD)	「プレゼント」	いじめ	17分	アニメーション	小学生	2011 (H23)	子どもたちに身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の人権の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらうために作られました。家庭や学校、地域で、人権についての意識を育てるための教材です。
8 (DVD)	「私たちの声が聞こえますか」	人権一般	30分	ドラマ	青年～成人	2012 (H24)	高齢者が急速に進行する中で、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取組として実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等を、自然に理解されるよう、施設の運営に人権の観点が不可欠であることを強調しています。
9 (DVD)	「未来への虹－ぼくのおじさんは、ハンセン病－」	人権一般	30分	アニメーション	少年～成人	2012 (H24)	ハンセン病患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんはハンセン病－平沢保治物語－」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらうことを目的として作られたものです。これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたいくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。
10 (DVD) H25	「一人ひとりの心は今！」	人権一般	34分	ドラマ	少年～成人	2013 (H25)	えせ同和行為に対して怯むことなく、一貫してき然とした態度で拒否し、また、障害者問題を社内で取り組んで行く若い社員たちの姿を描く人権問題啓発ドラマである。

11 (DVD)	ぬくもりの彩	高齢者問題／同和問題	36分	ドラマ	中学～成人	2003 (H15)	突然、障がいを持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品です。
12 (DVD)	ハンセン病 今を生きる	ハンセン病問題	49分	ドラマ	少年～成人	2006 (H18)	ハンセン病は「らい病」と診断された患者が、強制的に隔離されたことから『強い感染力をもった恐ろしい病気・伝染病』という間違った考えが広まり、偏見と差別を大きくしたといわれています。現在では早期発見と適切な治療で、障がいを残すことなく治る病気です。私たちはハンセン病について正しく理解し、差別や偏見をなくしていかなければならないのです。
13 (DVD)	いのち輝くとき	児童虐待	30分	ドラマ	青年～成人	2007 (H19)	最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に、地域社会から孤立している核家族の親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか…!
14 (DVD)	老いを生きる	高齢者問題	35分	ドラマ	成人	2007 (H19)	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品。
15 (DVD)	バースディ レストラン	同和問題	30分	ドラマ	青年～成人	2008 (H20)	中学3年生の主人公が、父親の死によって始めて自分の両親の離婚原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでの姿を描いています。
16 (DVD)	あなたに伝えたいこと	同和問題(インターネット)	36分	ドラマ	青年～成人	2014 (H26)	同和問題について、結婚における差別や身元調査に関する話などから、解決に向けて正しく知ることが重要であることを認識する。インターネットについて、利便性とともに匿名性に関する誤った理解から差別的な書き込みが行われていることに気づき、対応方法を学ぶ。
17 (DVD)	日常の人権Ⅱー気づきから行動へー 外国人の人権・障がい者の人権・部落差別・インターネットでの人権侵害	人権一般	23分	ドラマ	成人	2014 (H26)	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。
18 (DVD)	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権1ーハラスメントの視点からー	企業問題(ハラスメント)	23分	ドラマ	成人	2014 (H26)	働きやすい職場環境をつくるには、社員それぞれがお互いの立場を理解し尊重しあい、適切にコミュニケーションをとっていくことが大切です。この教材は、職場の身近なコミュニケーション不全がハラスメントの問題につながっていくことをドラマ形式でわかりやすく伝え、どうすれば健全な職場環境を育てることができるか皆で考えていくための教材です。
19 (DVD)	自他尊重のコミュニケーションと職場の人権2ー相手の立場で考えるー	企業問題(コミュニケーション)	23分	ドラマ	成人	2014 (H26)	この教材では、職場で体験しがちな身近なエピソードを切り取り、それぞれの異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さを考えていきます。それぞれのエピソードでは、お互い悪意はないのにコミュニケーションの不全から職場環境が悪化する状況になります。自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものなのかを考えてみましょう。

20 (DVD)	わたしからはじめ める人権 女性の人権編	人権一般	23分	ドラマとド キュメンタ リー	成人	2013 (H25)	
21 (DVD)	わたしからはじめ める人権 子どもの人権編	人権一般	17分	ドラマとド キュメンタ リー	成人	2013 (H25)	日常生活の中で見かける差別を、ドラマパートで取り上げ、続く設問で、視聴者自身の差別意識について問いかけます。そして、ドキュメンタリーパートでは、各テーマ別に、差別された経験のある人々の苦しみや、人としての素晴らしさを伝えていきます。(ワークシート付)
22 (DVD)	わたしからはじめ める人権 障がいのある人 の人権編	人権一般	17分	ドラマとド キュメンタ リー	成人	2013 (H25)	
23 (DVD)	悩まずアタック！ 脱・いじめスパイ ラル	いじめ	33分	ドラマ	小学～成 人	2014 (H26)	
24 (DVD)	事例で考えるパ ワハラ解決法 第1巻パワハラ と熱血指導	企業問題	23分	ドラマ	成人	2009 (H21)	パワハラにならない部下指導やパワハラ発生時の適切な対応等。事例を通じてパワハラの言動や発生時の対応方法をわかりやすく解説。
25 (DVD)	みんなの情報モ ラル I アニメー ションで学ぶ！ ネット社会の ルールとマナー	人権一般	43分	アニメー ション	小4～中 学生 高校生 一般	2016 (H28)	小学生から一般まで幅広い年齢層を対象とした情報モラルのアニメーション教材。スマホやSNSを利用する際の注意事項や危険性について、様々な場面を想定して解説。

26 (DVD)	「マタニティハラスメントから考える職場の人権」	企業問題 (ハラスメント)	31分	ドラマ	成人	2017 (H29)	<p>女性の社会進出が進み、その活躍の場は、幅広い領域、職種にわたっています。国もまた、男女共同参画社会の実現や少子化対策のため男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの法律を整備してきました。一方、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントに関する認知度も上がり、職場の人権意識はより一層高まっています。</p> <p>しかし、最近の調査では、そんな時代の流れに逆行するかのような問題が、明らかになっています。マタニティハラスメント、通称マタハラです。本来は喜ばしいことであるはずの”妊娠”をめぐってなぜ、同じ職場で働くもの同士、対立するような状況が生まれてしまうのか。女性の活躍に期待が寄せられる今、性別を超え男性にとっても女性にとっても働きやすい職場づくりを一緒に考えてみましょう！</p>
27 (DVD)	「いのちと死の授業」第1巻 難病と闘って気づいたこと ～今このときのいのちを輝かせるために～	人権一般	30分	ドキュメンタリー	小学校高学年以上	2017 (H29)	<p>「死とはなにか」、「何のために生きているのか」、「いかに生きていくべきか」。誰もが考えるこのテーマについて、病と死に向き合った方々の講演を通じて考える。</p> <p>NPO法人「ももの木」は白血病やがんなどの患者の方やその家族が集い、悩みを共有したり交流したりする活動をしている。メンバーは、死と隣り合わせの闘病の日々を生き抜いたことで感じたことや得たことなどを伝えるために、小学校から大学まで幅広い対象へ自らの闘病体験を語る「いのちの授業」を行っている。この巻では、「ももの木」のメンバーへのインタビューや、小学校での講演を通じて、「人生には限りがあるからこそ、生きていく今を輝かせて大切にしよう」というメッセージを伝える。</p>
28 (DVD)	「いのちと死の授業」第3巻 いじめ・自殺を防ぐために ～子どもたちのいのちを守る～	いじめ	34分	ドラマ	中学生以上	2017 (H29)	<p>日本では毎年300人以上の子どもたちが自殺している。その要因・動機として、学校問題、学業不振、進路に関する悩み、友人関係、いじめなど学校で起こる問題が多く挙げられており、国をあげて「いじめ」や「自殺」をなくす取り組みを始めている。</p> <p>この巻では、いじめの被害にあった子どもたちや、自殺にいたってしまった子どもたちの例をドラマで再現し、自殺に追い込まれてしまう原因や、いじめや自殺のサインについて解説。さらに、周りでの気づきを促したり、自尊感情を育てるために実際に学校で行われている活動を紹介する。ドラマや解説を視聴し、「もし自分だったらどうするか」「心といのちを守るためには、クラスや学校で何ができるか」を考えてもらいたい。</p>

<p>29 (DVD)</p>	<p>「いのちと死の授業」第5巻 少年犯罪をなくすために ～他人のいのち・自分のいのち～</p>	<p>いじめ</p>	<p>30分</p>	<p>ドラマとドキュメンタリー</p>	<p>中学生以上</p>	<p>2017 (H29)</p>	<p>近年、少年による重い犯罪が増加している。その原因として、少年たちが「生きること」「死ぬこと」について創造しにくくなっているという現状がある。 この巻では、少年たちが人を傷つけてしまった事件の再現ドラマを見てその背景を考察する。子どもたちが「生きること」「死ぬこと」に向かい合い、そして「自分の感情」にも気付き向かい合うために学校や家庭でできることを学ぶ。後半では、ある少年刑務所で行われている、「いのちの大切さを実感するためのプログラム」を紹介し、現代の少年が罪を犯す心理やその背景を解説する。</p>
---------------------	----------------------------------------------------------	------------	------------	---------------------	--------------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------